



大会の開会式は松橋高校グラウンドで、各種競技は宇城地域の各会場で行われる計画です

障害者団体が合同で学習会 障害者自立支援法を考える

9月2日、宇城地域の障害者団体などで行く「宇城障害者自立支援法を考える会」が第1回集会を開きました。本年4月から障害者自立支援法が施行され、福祉サービス利用料の一割を原則として自己負担しなくてはならなくなったため、自治体独自の負担軽減策を求めようと同会を設立。講演の後、参加者が意見を発表、最後に全員で集会宣言文を読み上げました。

また5日には、知的障害児者家族会と精神障害者家族会の合同学習会が開かれ、福祉課の職員が自立支援法について説明した後、質疑応答がありました。学習会終了後、出席者たちは松橋町曲野の共同店舗で、利用者負担軽減を求める署名を呼び掛けました。



ヒューマンネットワーク事務局の木浦義彦さんによる講演

来 第62回県体宇城地域実行委員会の設立 年の県体は宇城地域で

県民体育祭は県内最大のスポーツイベントで、毎年郡市の持ち回りとなっています。来年9月15日、16日に開催される第62回熊本県民体育祭は14年ぶりに宇城地域での開催となり、その実行委員会の設立が9月5日に不知火公民館で関係者130人の出席の下、承認されました。

宇土市・宇城市・下益城郡からの職員による実行委員会事務局は宇城市教育委員会内に設置され、県民体育祭の主旨である「地域性の演出と心のこもった大会」を合言葉に、大会が円滑に運営できるよう準備が進められます。

開講式で講話する県食生活改善推進員連絡協議会の山田会長



在宅介護食講習会開講式・第1回講習会 ヘルスメイトが高齢者の食生活を支援

市食生活改善推進員協議会が9月4日、市役所で開催し、ヘルスメイト（食生活改善推進員）45人が受講。在宅介護を行うヘルスメイトなどを支援しようと、日本食生活協会などが取り組む「在宅介護食ボランティア事業」として実施したものです。開講式の後、講習会があり、日本赤十字社熊本県支部事業推進課の村田裕子さんが講義を行いました。市協議会は、今後5回にわたり介護食について講習会を行い、修了者には認定証などを贈ります。



協定書に署名する敷島武法代表取締役と阿曾田清市長

3 企業誘致調印式 番目の進出企業

9月8日、熊本市近見に本社を持つ敷島印刷株式会社が松橋町豊崎の縫製工場跡地に工場を移転するため、市と進出協定を結びました。

調印式の後、敷島武法代表取締役が「企画提案力を最大限に発揮し、より良い製品づくりを目指します。また新工場では福利厚生の実施に努め、安全で働きやすい職場づくりを実現します」とあいさつ。工場は11月中旬に移転、12月からの操業を予定しており、今後の雇用促進に期待が掛かります。

スイム担当を待つバイク担当の子どもたち



小 第10回ちびっこトライアスロンinとよの さな鉄人が熱戦

8月20日に豊野小一帯で開催され、市内外の小学生約170人が1・2年生のAクラス、3・4年生のBクラス、5・6年生のCクラス、リレークラスの4部門に出場しました。宇城市体育指導委員協議会豊野部会主催。競技終了後は抽選会「とらいあてろん」もありました。

市内出場者の主な成績は次のとおりです。

Aクラス	優勝	宮本 優君（豊野小）
	5位	浜田宗次郎君（豊野小）
Bクラス	3位	田口真子さん（不知火小）
リレークラス	5位	豊野の次男坊'S（白木・栃原・井上）

1 健康宇城市21運動講演会 に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後に薬

9月10日に不知火公民館であり、市民など約160人が出席しました。日本赤十字社熊本健康管理センター運動指導士の裏前幸美さんが「何もしないより週に1回でも運動し続ける方が、肥満やストレス解消などに効果があります」と講演。運動不足解消として気軽に始められるウォーキングを提案し、講演会終了後は参加者を対象に実技指導を行いました。



講師の指導の下、元気に腕を振って歩く参加者たち